

令和8年度第1回 福知山市行政改革推進委員会

日 時：5月20日（水）

午前10時15分から

場 所：市民交流プラザ3階 視聴覚室

《 次 第 》

開会 市長挨拶

- 1 令和8年度委員及び事務局体制の紹介
- 2 委員長・副委員長の選出
- 3 報告事項
 - （1）自治基本条例推進委員会の取組について
 - （2）令和8年度当初予算について
- 4 議事
 - （1）次期行政改革大綱について

閉会

【配布資料】

- 資料1 福知山市行政改革推進委員会 委員名簿
- 資料2 福知山市職員名簿
- 資料3 福知山市行政改革推進委員会規則
- 資料4 自治基本条例推進委員会の取組について
- 資料5 令和8年度福知山市予算案の概要
- 資料6 次期行政改革大綱について

福知山市行政改革推進委員会 委員名簿
(令和8年4月～)

(50音順、敬称略)

	氏名	機関・団体名・主な公職等
1	井上 拓 (再任)	・ I T コンサルタント ・ フューチャー株式会社シニアアーキテクト
2	井上 直樹 (再任)	・ 福知山公立大学 地域経営学部長 ・ 福知山市指定管理者制度第三者評価委員会委員 ・ 福知山市上下水道事業経営審議会会長 ・ 精華町代表監査委員 ・ 国際公会計学会理事
3	浦尾 たか子 (再任)	・ 京南倉庫株式会社常務取締役 ・ 京都府産業人材育成委員会委員 ・ (公社) 下京納税協会副会長 ・ (社) 近畿建設協会理事
4	岡 恵 (再任)	・ 特定侵害訴訟代理業務付記弁理士 ・ 行政書士
5	細見 祐介 (再任)	・ 公認会計士 ・ 税理士 ・ 福知山市固定資産評価審査委員会委員 ・ 福知山市指定管理者制度第三者評価委員会委員 ・ 福知山公立大学非常勤講師
6	村尾 愼哉 (再任)	・ 公認会計士 ・ 税理士 ・ 村尾会計事務所所長 ・ 滋賀県監査委員

福知山市職員名簿（令和 8 年度）

（行政改革推進委員会事務局）

補職名	氏名
市長公室長	伊 藤 信 夫
総務部長	蘆 田 祐 幸
市長公室 経営戦略課長	西 躰 一 欽
総務部 財政課長	伊 達 大 史
市長公室 経営戦略課 行政経営係長	西 山 峻 平
市長公室 経営戦略課 行政経営係	黒 木 美 佳

福知山市行政改革推進委員会規則

(目的)

第1条 この規則は、福知山市附属機関設置条例（昭和28年福知山市条例第29号）第2条の規定に基づき、福知山市行政改革推進委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、市政に関して優れた識見を有する者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長1人、副委員長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(資料提出の要求等)

第6条 委員会は、調査審議のため必要があるときは、関係職員に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、市長公室経営戦略課において処理する。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

自治基本条例推進委員会の取組について
 (「市民から市民への21の提案」の具体化に向けて)

1 令和4年度の主な取組内容について

「市民から市民への21の提案」について、21人の委員を2つのグループに分け(Aグループ 10 人、Bグループ 11 人)、それぞれのグループごと3～4のテーマについて検討を行った。

各委員とも市民目線で各提案に対してこうすべきである等の意見出しに終始した。

提案No.	提案内容	検討内容
提案②	学校だけではない学びの場をつくり、「生きる力」と「困難に対するしなやかさ」を育もう	元教師のスキルやノウハウを活かしたフリースクールや学校と家庭をつなぐ中間支援が必要。
提案③	「子育ての話」を気軽にでき、先入観や「あるべき論」にとらわれず、一人ひとりの個性を生かした子育てができる環境をつくろう	不登校等に悩む保護者が行政の窓口いきなり相談に行くのは勇気がいることなので、気軽に話することができる場があれば救いになる。
提案⑧	子育てを地域全体でサポートすることで働く人が住みやすいまちをつくろう	学校以外の学びを主体的に取り組む力を求められているので、そういう学びの場を地域に求める。
提案⑫	福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう	市民出資による資金で農作物を育てる。観光地の交通手段確保のため、観光地同士をつなぐバスを運行する。
提案⑬	福知山市の歴史、自然、文化などの魅力を日本中、そして世界にむけてアピールしていこう	行政だけではなく、さまざまな立場の人が SNS 等で情報発信し、福知山市の魅力をPRする。
提案⑭	担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていこう	自治会の中で自治会員が自発的な活動を応援する。 わがまち自慢や取組み事例を発表する機会を作り、情報交換を進める。 世帯から代表してではなく実行委員会形成にし、できる人ができることをやる。
提案⑲	一人ひとりが楽しみながら、様々な場で力を発揮することができる環境をつくろう	地域の繋がりをもつために、地域行事に参加してもらい機会をいかに増やすかを考える。

2 令和4年度の取組の課題について

「市民から市民への21の提案」の内容及び実現に向けて検討した内容について、市民に対して十分な周知ができなかった。

提案の検討に向けた現状把握や市民が主体となって取り組むための課題設定が不十分なものあり、実現に向けた具体的な提案の検討まで至らなかった。

3 令和5年度の主な取組内容について

(1) まちづくり講演会の実施について

「市民から市民への21の提案」の内容及び自治基本条例推進委員による提案の実現に向けた検討内容を広く市民に周知するとともに、市内及び市外において地域活動を主体的に実践している実践者の話を聴き、まちづくり活動への参加のきっかけを創出するために実施した。8月26日開催。参加者数約50名。

(2) グループワーク形式による提案の具現化に向けた検討について

令和4年度の反省も踏まえ、3～4名の少人数グループ編成とし、意見出しのみに終わらず、具体的な実施の姿まで描くまで十分議論を行った。十分な議論に時間を要するグループは自主的に集まりグループワークを数回行った。

また、各グループに関係する分野の市職員も参加し、各分野の現状把握を共有するとともに、一市民として具体的な実施に向けた議論を一緒に行った。

提案No.	提案内容	具体化に向けた検討内容
提案⑦	福知山市の自然やコミュニティの中でしか体験できない思い出をたくさん作ることで「心の豊かさ」を育むとともに世界に向けて「発信したくなる気持ち」を育てよう	コミュニケーションツール「Slack」において、地域の人が知らないコアな情報を発信するスペース「ふくしる」を開設。このスペースを活用して市民自らが情報発信し、市民同士がつながる仕組みをつくる。
提案⑫	福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう	福知山市在住外国籍の方への聞き取りや市民からの募集により市民が訪日外国人客に向けた体験型周遊プランを作成する。
提案⑭	担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていく	複数自治会で連携する取組の検討を行う。気軽に参加でき、話ができる機会を作るなど楽しみを共有する場を作る。先進的な取組を行う自治会を紹介する冊子を作成し配布する。など
提案⑮	「やらなければならない」地域活動から「やりたい人がやりたいことをやる」地域活動へ変えていく	
提案⑳	一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな相談、支援をできる体制を、地域包括支援センターを中心ににつくろう	地域包括支援センターの認知度を高めるために、チラシを作成するなどの広報を行うとともに、日頃から地域の人同士のつながりを深める取組を行う。
提案㉑	独居高齢者、老々介護、介護離職など、様々な介護の事情や社会生活環境の変化をふまえ、担い手の多様化と地域での支え合いの仕組みをつくろう	地域を超えた集まり、つながりの場の創出やリーダーや役を作らない新しい集まりの場の運営の創出を図り住民全体で支え合う地域をめざす。

4 令和5年度の課題について

各グループの話し合いにより具体化に向けた意見は出されたが、そのアイデアを実際に誰が実行していくかについては各班とも課題と考えている。

提案内容を広く市民に周知し、実際に取組が始まるきっかけづくりも必要となってくる。

5 令和6年度の主な取組内容について

(1) まちづくり講演会について

まちづくり活動への参加のきっかけを創出するため、自治基本条例推進委員による「市民から市民への21の提案」の具体化に向けた検討内容や「市民参画を促すための自治基本条例の周知」について議論を行った内容の報告等を行うため、講演会を実施した。3月25日開催。参加者約30名。

(2) グループワーク形式による提案の具体化に向けた検討について

「市民から市民への21の提案」について、2つのグループ(Aグループ7名、Bグループ4名)でグループごとに3テーマについて個人、地域等、それぞれが行うこと、実現できる取組内容について議論を行った。

(Cグループの5名は市民参画を促すための自治基本条例の周知について議論を行った。)

提案No.	提案内容	具体化に向けた検討内容
提案④	障害のある人や様々な悩みを抱え孤立しがちな子どもや家族に市民どうしが互いに興味を持ち、手を差し伸べ、誰も孤立させない環境をつくろう	・地域や NPO が主体となったつながりの場の創出 ・企業における就労支援の強化 ・悩んでいる人に身近な人々が気づきやすい環境づくり ・支援団体同士のネットワーク形成 ・クラウドファンディングや企業、行政からの補助金の活用 ・自治会内での要支援者への支援体制整備 ・防災活動を通じた地域の見守り体制の強化
提案⑤	学び続けたい大人たちが、互いに学び合い、教え合う環境をつくり、地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくろう	・地域のサロンなどの既存の場に積極的に参加する意識を持つ ・実施側はより目にとまりやすい周知方法の工夫を行う ・自治会などでワークショップを開催し住民同士が意見やアイデアをアウトプットできる場をつくる ・地域と福知山公立大学が連携し共同研究や課題解決の取組を推進 ・オンラインセミナーなどICTを活用して学び合いの機会を増やしより多様な視点やノウハウを取り入れる ・地域活動の成果や取組を発信することで他地域や次世代への広がりを促進
提案⑥	動画やデジタルを活用した「ICT 教育」を推進し、一人ひとりの状況にあわせたきめ細やかな学びを実現させると同時に、生きる力を集団で学ぶ、成熟した学びをつくっていかう	・地域団体や NPO と連携した公民館でのスマホ講座やパソコン講座の実施 ・公民館などの Wi-Fi 整備
提案⑨	多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と	・地元企業が自社の取組を公開し大学生や

	“人”をつなぐ仕組みをつくろう	市民と意見交換を行う場を創出 ・「オープンファクトリー」を通じた地域産業の 魅力発信と若者の地域定着
提案⑩	福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう	・若者が地域と関わる場として「オープンファクトリー」や「情報交換の場」を積極的に創り出す
提案⑪	意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、まちぐるみでサポート、育成していこう	・「オープンファクトリー」などにおける経営者と起業を希望する若者との交流 ・学生や若者が挑戦しやすくなるよう地域の企業や NPO、行政が連携してサポート体制を強化

6 令和6年度の課題について

各グループにおいて提案の具体化に向けた議論を行ったが、実際に誰がどのように取り組むのか、市民が主体となって取り組む内容の設定が難しい提案であった。取組内容をいかに市民に周知していくかが課題である。

7 令和7年度の主な取組について

(1) まちづくり講演会について

「市民から市民への 21 の提案」の内容及び自治基本条例推進委員による提案の実現に向けた検討内容を広く市民に周知するとともに、本委員会の委員長より、まちづくり活動をする上でのヒントとなる話を伺った。3月18日開催。参加者約 35 名。

(2) グループワーク形式による提案の具体化に向けた検討について

「市民から市民へ21の提案」について、3つのグループ(Aグループ 5 名、B グループ 5 名、C グループ 6 名、)でグループごとに4テーマについて、個人、地域等、それぞれが行うこと、実現できる取組内容について議論を行った。

提案No.	提案内容	具体化に向けた検討内容
提案①	生活実感を入り口に、地域のことを「自分事」として考えるきっかけとなる対話の場をつくろう	・サロンや地域活動の活用、地域の拠点の活用、移動サロン、食事やイベントをきっかけにした交流により、参加しやすいきっかけをつくる
提案⑯	自動車がなくとも、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みをつくろう	・地域交通、乗り合い、移動販売、移動サービスにより、地域の実情に合わせた多様な移動手段が必要。
提案⑰	身近な場所に拠点をづくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう	・地域の中の人が集まれる拠点(公民館、空き施設、店舗、地域交流施設)を活用する。 ・「移動」と「地域(拠点)」を組み合わせることで、買い物、交流、健康づくり等において、地域の暮らしを支えることができる。
提案⑱	医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう	・地域の交流の場は、健康づくりのきっかけとなる。 ・閉鎖した保育園の活用、公民館の活用、

		スーパーのイートイン、出張サロンなどの身近な場所を活用する。 ・地域の食文化を活かした交流（野菜や食べ物のおすそ分けなど） ・地域での見守りや健康相談の仕組み（デジタル技術の活用） ・地元企業や地域団体と連携した健康づくりプロジェクト ・地域の様々な資源を活用して、健康づくりの輪を広げていく
--	--	--

令和8年度 福知山市予算案の概要

令和8年2月
福知山市

構成

I 当初予算の全体像

II 物価高騰対策

III 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

- ①市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち
- ②市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち
- ③市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち
- ④市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち
- ⑤市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち
- ⑥市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち
- ⑦市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち
- ⑧市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち
- ⑨持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

IV 持続可能な財政構造の堅持

I 当初予算の全体像

「未来を拓き 幸せを生きるまち 創造予算」

会計	令和8年度	令和7年度	増減
一般会計	484.8億円	471.9億円	+12.9億円 (+2.7%)
特別会計 (9会計)	178.2億円	176.4億円	+1.8億円 (+1.0%)
企業会計 (3会計)	346.1億円	324.4億円	+21.7億円 (+6.7%)
全会計 総額	1,009.1億円	972.7億円	+36.4億円 (+3.7%)

※増減額・率は0.1億円未満の端数処理の関係で本表上の計算と合わない場合がある

【当初予算のポイント】

- ◆令和8年度は、令和4年度にスタートしたまちづくりの基本的な指針「まちづくり構想 福知山」(計画期間5年)によるまちづくりの最終年度であり、本市を未来につないでいく基底を固めるために「未来を拓き 幸せを生きるまち 創造予算」として物価の高騰や人件費の増が進む厳しい財政状況の中、徹底して経費を精査しつつ将来につながる必要な投資も盛り込んで予算を編成した
- ◆喫緊の課題である物価高騰対応関連の予算を計上しつつAIなどのICT技術を活用するなどして、事務や事業の見直しを進め、基金からの繰入金も抑制するなど、未来に向けて財政の持続性向上をめざす予算とした
- ◆一般会計の予算総額は、扶助費・人件費の増などにより12.9億円増の484.8億円で過去最大となった
- ◆特別会計は、石原土地区画整理事業特別会計が1.0億円の減となる一方、国民健康保険事業特別会計が1.0億円、介護保険事業特別会計が0.9億円、後期高齢者医療事業特別会計が0.7億円の増となり、総額では1.8億円の増となった
- ◆企業会計は、水道事業会計が0.6億円の減、下水道事業会計が5.7億円の増、病院事業会計が16.7億円の増となり、企業会計の総額では21.7億円の増となった
- ◆全会計の総額は、前年度から36.4億円の増となり、初めて1,000億円を上回った

I 当初予算の全体像

一般会計	令和8年度	令和7年度	増減
歳入・歳出総額	484.8億円	471.9億円	+12.9億円 (+2.7%)
(歳入) 一般財源 (基金繰入除く)	298.1億円	279.8億円	+18.3億円 (+6.5%)
(歳入) 市債	31.5億円	45.5億円	△14.0億円 (△30.8%)
(歳出) 経常的経費	393.2億円	371.8億円	+21.3億円 (+5.8%)
(歳出) 投資的経費	49.0億円	62.1億円	△13.1億円 (△21.1%)

※一般財源には基金繰入を含まない ※増減額・率は0.1億円未満の端数処理の関係で本表上の計算と合わない場合がある

【一般会計歳入予算のポイント】

- ◆市税は、総額で6.5億円の増
- ◆普通交付税は、職員給与費や社会保障費の伸びなどを見込み、4.5億円の増
- ◆寄附金のうち、個人・企業版を合わせたふるさと納税寄附金は前年度比4.0億円の増
- ◆光熱費高騰の影響等に対応するために財政調整基金繰入金は0.8億円減の2.2億円を計上
- ◆特定目的基金の繰入額は、地域振興基金繰入金や過疎地域持続的発展基金繰入金の減などで、1.1億円の減
- ◆基金繰入金を除く一般財源は、市税や普通交付税の増により18.3億円の増
- ◆市債は、投資的経費の減少により前年度比30.8%減となる31.5億円を計上

【一般会計歳出予算のポイント】

- ◆総額は、ふるさと納税寄附の拡大に係る委託料増の影響などで物件費が2.6億円の増、扶助費が5.2億円の増、給与改定や地域手当の拡充の影響などで人件費が8.0億円の増となったことなどで、12.9億円増加し、当初予算としては過去最大の484.8億円
- ◆経常的経費は、人件費の増に加え、保育所委託事業、自立支援給付(障害福祉サービス等)事業などの扶助費の増加により21.3億円の増
- ◆投資的経費は人権関連施設集約整備事業や放課後児童クラブ整備事業などを増としつつも、つつじが丘・向野団地建替事業や地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業が大きく減となったことなどで13.1億円の減

Ⅱ 物価高騰対策

国の補正予算を活用し、物価高騰の影響を大きく受ける事業者等を幅広く支援します

※令和8年3月定例会には、前倒し補正予算として市民1人あたり5千円を給付する福知山市物価高騰対策定額給付金事業を計上

新規

福知山市中小企業者経営基盤強化・ 賃上げ特別支援事業 3255万円

P.20
産業課

中小企業者の賃上げ環境を整備し、経営基盤の強化を図ります。

(主な取組)

- ◆中小企業者のデジタル化・DXに関する取組への伴走支援
- ◆労働生産性の向上を実現する計画に基づき先端設備等を導入する
中小企業者への支援金給付



中小企業者のみなさまと一緒にDXの取組を考えます

新規

スマート農業DX導入支援事業 2667万円

P.21
農業振興課

農業者や農業団体による生産性向上や労働負担軽減の取組を支援し、経営基盤強化と高収益化を図ります。

(主な取組)

- ◆認定農業者等のスマート農業機械等の購入に係る経費の一部を支援
 - ↳補助率:事業費(50万円以上)の2/3以内 上限1300万円
 - ↳面積要件あり:土地利用型作物を20ha以上栽培していること
(土地利用型作物の例:主食用米、加工用米、小豆、大豆など)



農業用ドローン



直進アシスト機能付きトラクター

新規

急性期病院物価高騰対策支援事業 9275万円

P.22
健康医療課

地域の救急医療を担う急性期病院に対し、安定した救急医療体制を維持するための支援を行います。

(主な取組)

- ◆急性期病院が管理する高度急性期病床数
及び急性期病床数に応じた補助金交付



■令和7年度国補正予算に伴う重点支援地方交付金の活用事業

※金額は、重点支援地方交付金活用額 (単位:千円)

事業名	金額
R7.12月補正予算	
福知山市食料品等高騰対策臨時特別給付金事業	289,224
R8.3月補正予算(前倒し)	
福知山市物価高騰対策定額給付金事業	408,942
R8当初予算	
福知山市中小企業者経営基盤強化・賃上げ特別支援事業	32,550
スマート農業DX導入支援事業	26,665
急性期病院物価高騰対策支援事業	92,750
学校給食管理運営事業(国補助基準超過額支援分)	9,193
安心・安全まちづくり推進事業(防犯カメラ設置補助分)	3,000
上水道事業会計負担金(光熱費高騰支援の一部)	27,539
合計	889,863

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、 ほどよい力加減で助け合うまち

市民と様々な情報を共有しながら、
災害対応や生活支援、日常の生活手段の確保などを、
地域と協働して進めます。

地域の構成員である市民や企業、NPO、各種団体、
関係人口などが地域の担い手となり、
自助・共助・公助の役割分担も踏まえた
持続可能なまちづくりを進めます。

Ⅲ-①

市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

次期「まちづくり構想 福知山」を策定します

まちづくり構想推進事業 1268万円

P.25
経営戦略課

令和3年度に策定した「まちづくり構想 福知山」(計画期間:令和4～8年度)では、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいくこととしており、自治基本条例推進委員会の活動や施策レビューの実施などにより、市民協働によるまちづくりを進めてきました。令和8年度は、2040年市民会議での議論などをふまえ、まちづくり構想審議会を開催し、次期「まちづくり構想 福知山」を策定します。

(主な取組)

- ◆次期「まちづくり構想 福知山」の策定



参加者同士での意見交換(2040年市民会議)

多様な人材の政治参加を促すための取組を推進します

拡充 広報広聴活動事業 669万円

P.23
市議会事務局

多様な人材の政治参加を促す観点から、次代を担う若者や女性を含む幅広い層が政策や議会への関心を高め、まちづくりの意思決定に参画する力を育む「主権者教育」の視点を取り入れた広報広聴活動を推進します。

(主な取組)

- ◆議会だよりの発行(紙面リニューアル)
- ◆主権者参画事業(ギカモニさん活動など)【拡充】
- ◆本会議・委員会等のライブ中継、市議会facebookを活用した情報発信、議会報告会開催など

新システム導入により来庁者の負担を軽減します

拡充 戸籍等事務事業 7399万円

P.28
市民課

住民基本台帳システムの標準化により、現在のシステムが使用できなくなるため、新たなシステムを導入します。

(主な取組)

- ◆新たな窓口受付システムの導入【拡充】

- ↳事前予約サービスの導入
- ↳混雑情報の配信
- ↳順番お知らせメールサービスの導入

- ◆新たな異動受付支援システムの導入【拡充】

- ↳窓口職員が来庁者の目的に応じて申請書を作成
- ↳業務効率化により来庁者の待ち時間を短縮



福知山公立大生との意見交換(議会報告会)



議会だよりの「ギカモニさん」特集ページ

Ⅲ-① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

市民と市政の情報共有のあり方をアップデートしていきます

広報広聴戦略推進事業 486万円

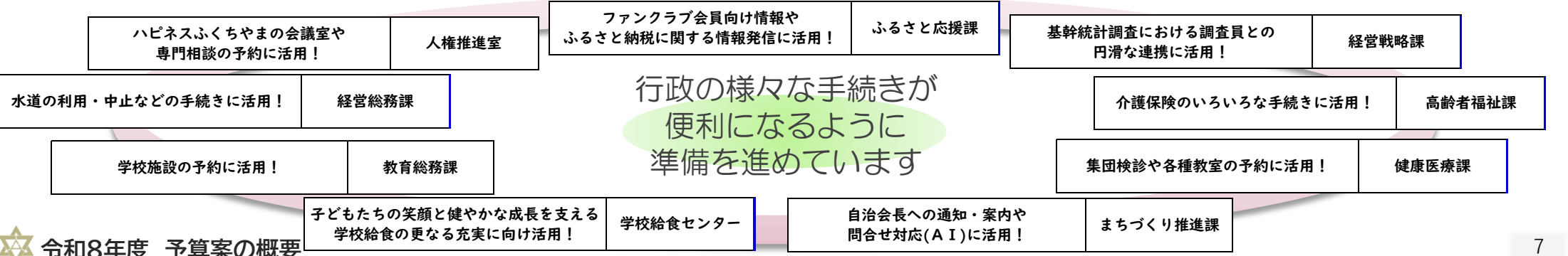
P.24
秘書広報課

市政に関わる情報を市民にわかりやすく説明するとともに、一方向から双方向のコミュニケーションへのシフトが求められています。令和7年1月に福知山市広報戦略検討委員会から提出された提言をもとに、引き続き効果的・効率的な広報・広聴に取り組むことで、市民の市政への関心や理解を深め、協働のまちづくりにつなげます。

- (主な取組)
- ◆市長が市政情報を自ら発信するコンテンツの制作・配信(動画・音声)
 - ◆福知山市LINE公式アカウントリニューアルプロジェクト
 - ↳市からの情報発信だけでなく、オンライン手続きや広聴機能を部署横断で段階的に拡充・改良します。



導入時期	LINE活用方法	こんなことができるようになります	担当課
<先行導入>	こどもNEWSで子育て情報をお届け中！ (令和8年2月から配信を始めています)	市内の事業者や子育て支援団体、行政による子育て世帯向けの取組みやイベント情報を定期的（毎週木曜日）に受け取ることができます。	こども家庭支援課
	ごみの収集日の通知、地区別ごみ収集カレンダー (令和8年2月から配信を始めています)	ごみの収集日の通知や、お住まいに応じた地区別ごみ収集カレンダーを手軽に確認できることで、「しまった、ごみ出し忘れちゃった！」や「今日何のごみの日だけ？」を防止します。	生活環境課
令和8年4月	観光施設の予約申し込みや、地域住民への防災&日常地域情報の伝達に活用！	観光客の施設認知度、利便性が向上。セグメント配信により、地域性豊かな情報を住民が確実に取得できます。	大江支所
令和8年10月（予定）	道路事業や法定外公共物、地籍調査に関する問合せ対応に活用！	電話をかけたり市庁舎に赴く手間を省くとともに、問い合わせにもAIが24時間対応します。	用地課
令和9年2月（予定）	火葬の予約等に活用！	市民（ご遺族）と葬祭業者との間の日程調整に活用したり、時間帯に関わらず問い合わせができます。	市民課



Ⅲ-①

まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

ふるさと納税寄附のさらなる拡大をめざします

ふくちやまサポーター拡大事業 10億3646万円

P.26
ふるさと応援課

ふるさと納税の市場規模拡大に伴い、自治体間競争が加速しています。本市でも、令和7年度よりふるさと応援課を新設し、ふるさと納税制度に今まで以上に積極的に取り組み、地場産品のPRや市内事業者を支援するとともに、税外収入としてのふるさと納税寄附額の拡大を図ります。

令和8年度は、寄附額10億円を目標に取り組みます。

(主な取組)

- ◆マーケティング視点での返礼品開発、既存返礼品のブラッシュアップ
- ◆福知山の食のブランディングや寄附金の使い道の発信
 - ↳ 寄附の体験価値の向上、福知山ファンやリピーターの拡大
- ◆令和7年度に創設した「“福知山の変”ブランド創出支援補助金」を引き続き実施
 - ↳ 新たな地場産品の創出、生産力向上

※予算額のうち5億円はふるさと納税寄附の積立金

“福知山の変”ブランド創出支援補助金とは…
ふるさと納税制度を活用し、クラウドファンディング
により集めた寄附を財源とした補助金制度です。

“福知山の変”ブランド創出支援補助金 実施フロー



福知山市を応援してくれる皆さんと継続的な関係性を築き、関係人口を増やします。

拡充 ふくちやまプロモーション事業 1715万円

P.27
ふるさと応援課

市外の福知山ファンやふるさと納税寄附者とのつながりや関係性を構築し、継続的な支援や関わり意思を持つ応援者を増やしていくため、地域の魅力やふるさと納税寄附金の使い道などの情報発信や交流イベントなどのコミュニケーション活動を通じて、関係人口(多様な形で地域に関わる市外の人々)の拡大に取り組んでいきます。

(主な取組)

- ◆ふるさと納税と連携した関係人口拡大【**拡充**】
 - ↳ 地域活性化起業人制度を活用した関係人口増加や地域ブランド創出につながる商品開発などの取組
- ◆福知山ファンや本市に関心のある方々との交流イベントを実施【**拡充**】

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、 生かし、次世代につないでいくまち

地球環境問題を自分事として捉え、
身近なことから実践するまちづくりを推進します。

災害はわがまちにとって常に隣り合わせの問題であり、
市民の生命と暮らしを守ることを第一に対策を講じます。

また、地域資源の活用を図りながら、
豊かな自然環境を後々の世代に引き継いでいけるよう、
保全と利活用の両立を推進していきます。

Ⅲ-②

市民一人ひとりが、

自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

大規模災害を想定した対応体制を検討・強化していきます

大規模災害対応力強化事業 1583万円

P.30
危機管理室

※令和8年3月定例会には、前倒し補正予算として1986万円を計上

令和6年1月に発生した能登半島地震では、被災自治体が物的支援や防災関係機関による人的支援を受け入れ、被災者支援を行いました。本市における大規模災害発生時に他機関からの様々な支援を円滑に受け入れ、被災者への支援に最大限の効果を発揮するため、災害対応体制を強化します。

(主な取組)

- ◆(仮称)大規模災害対応力強化検証会の実施
- ◆防災シンポジウムの開催
- ◆大規模災害時における避難所環境の整備
 - ↳備蓄物資の整備[前倒し補正予算]



防災シンポジウムの様子(令和7年度)



パーティションを設置した避難所

災害発生時に安心して使用できるトイレ環境を整えます

マンホールトイレ整備事業

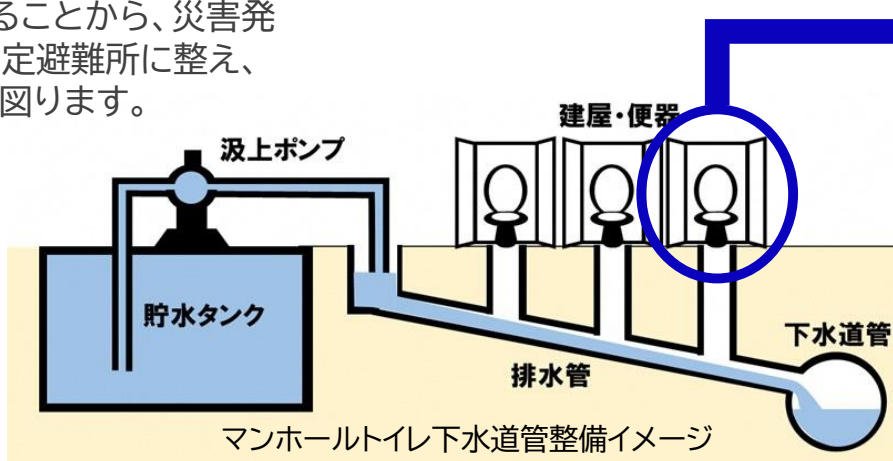
マンホールトイレ下部設置工事関連 2544万円

P.31
危機管理室
下水道課

災害時に劣悪な状況にあるトイレの使用を強いられることで、身体・精神の両面から健康被害へとつながるおそれがあることから、災害発生時でも安心して快適に使用できるトイレ環境を指定避難所に整え、被災時の衛生対策や被災者の心身の健康の確保を図ります。

(主な取組)

- ◆マンホールトイレ用資機材の購入
 - ↳パネル型の建屋、可搬式送水電動手押しポンプなど
- ◆マンホールトイレ下部設置工事
 - ↳成和地域公民館(5基)



マンホールトイレ下水道管整備イメージ



トイレ建屋・便座イメージ

Ⅲ-②

市民一人ひとりが、 自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

森林環境譲与税を有効に活用して循環型森林整備を進めます

拡充 循環型森林ビジョン推進事業 9341万円

P.33
農林整備課

将来世代にわたって森林資源を循環利用するために、森林環境譲与税を活用して「福知山市循環型森林ビジョン」(令和6年度策定)に掲げる目標達成のための施策を展開します。

(主な取組)

- ◆森林境界の明確化(夜久野町畑地区)
- ◆高性能林業機械の導入や林業のスマート化等の取組支援
- ◆循環型森林整備対象箇所における再造林・切捨間伐への支援【拡充】

R8は循環型森林ビジョン
策定後第1地区目となる
市寺地区



循環型森林整備の事例(夜久野町額田地区)

環境に配慮したごみの適正処理の仕組づくりを進めます

ごみの減量ふくちやまモデル 推進事業 2328万円

P.35
生活環境課

拡充 [債務負担行為額(令和8~9年度) 1270万円]

ごみ処理施設の老朽化等に伴う経費の増大化が進む中、長期的に安定したごみ処理を継続するため、ごみの減量・資源化に向けた取組に加え、将来に向けた持続可能なごみ処理体制の構築を図ります。

(主な取組)

- ◆将来にわたる持続可能なごみ処理体制の構築
 - ↳ごみ中間処理施設のあり方の検討
 - プラスチック使用製品ごみ再商品化処理施設の整備構想の策定【拡充】
 - ごみ最終処分施設延命化(長寿命化及び適正更新)計画の見直し
- ◆経年でのごみ処理コストを分析・評価し、将来必要となる経費についての比較・検討【拡充】
- ◆循環型社会形成推進地域計画の見直し

ごみ出しに支援を必要とする世帯に対して戸別収集を始めます

高齢者等ごみ出し困難世帯支援事業 503万円

P.34
生活環境課

新規

高齢化や核家族化等の進展に伴い、高齢者のみの世帯等が増加しており、ごみステーションへのごみ出しが困難となる世帯が増加しています。

こうした背景を踏まえ、ごみ出しにかかる支援を必要とする世帯を対象とし、家庭ごみの戸別収集を実施します。

(主な取組)

- ◆家庭ごみの戸別収集(玄関前での収集)
- (スケジュール)
 - ・令和8年8月 制度利用者の募集を開始
 - ・令和8年10月 戸別収集開始



Ⅲ-②

市民一人ひとりが、

自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

市民の生命と財産を守る消防署・消防団の車両や装備、活動拠点となる施設等を計画的に更新します

消防車両更新事業 6911万円

P.37
消防課

複雑多様化する各種災害に的確かつ迅速に対応し、市民の尊い生命と財産を災害から守るため、消防車両の更新を計画的に実施します。

(主な取組)

- ◆高規格救急自動車の更新
- ◆防火指導車の更新
- ◆小型動力ポンプ付積載車の更新



高規格救急自動車イメージ



小型動力ポンプ付積載車イメージ

消防団活動事業において、令和8年度全消防団員に救助用半長靴（安全靴）を支給します。



救助用半長靴イメージ

消防団施設整備事業 1億122万円

P.36
消防課

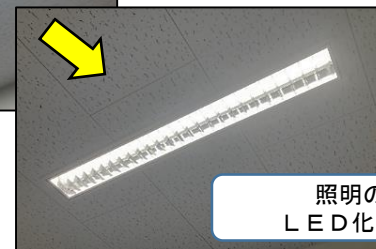
地域防災の要である消防団員の活動拠点となる消防車庫・詰所を整備することにより、消防防災体制に万全を期すとともに、長時間にわたる災害現場活動に取り組む消防団員の活動環境の整備を図ります。

(主な取組)

- ◆消防車庫・詰所新築工事(河守分団)
- ◆消防車庫・詰所新築設計業務(雀部分団)
- ◆消防団施設照明設備LED化改修工事



統合車庫・詰所イメージ



照明のLED化工事



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

③ 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、 共に育み、共に育つまち

どんな場面においても個人の尊厳が守られ、
子どもから大人まで誰もがお互いの生き方を
尊重することを基本とした地域生活確立します。

そのような、自分らしさが生かされ
多様性を認め合う環境の下で、
子どもたちの育ちを見つめ、共に支え合い、
安心して出産・子育てできるまちづくりを進めます。

Ⅲ-③

市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち



オレンジのまちづくり

「オレンジのまちづくり」をキーワードに各部局・事業を連携し福祉施策全般の効果を高めます

オレンジのまちづくり関連事業 合計 5265万円

P.42
社会福祉課ほか

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉の3つの分野においてオレンジ色をシンボルカラーとした「オレンジのまちづくり」に一体的に取り組んできました。

令和8年度は住民組織・ボランティア・地域団体等のネットワークを一層活用できるよう事業の一部を業務委託し、住民参加型の事業実施と担い手づくりを一体的に進めることで、地域の誰もが認知症の人や障害のある人、その家族、子育て家庭等の状況に寄り添い、お互いに支え、支えられる優しいまち-地域共生社会の実現をめざします。

認知症を含む高齢者施策

- 認知症施策推進事業 68万円
↳認知症の理解促進、周知・啓発
- 家族介護者支援事業 11万円
↳家族会・交流会など
- 地域包括支援センター運営事業(重層的支援体制整備事業) 8万円
↳周知・啓発
- 介護予防・生活支援サービス事業 720万円
↳訪問型サービスB補助金
- 安心生活見守り事業 695万円
↳緊急通報サービス
- 在宅高齢者配食サービス事業 2861万円
- 介護人材確保対策事業 8万円
↳介護の日大作戦開催

障害者施策

- 手話言語・情報コミュニケーション推進事業 79万円
↳あいサポート運動、当事者等支援など
- 地域生活支援事業(社会参加促進事業) 321万円
↳コミュニケーション支援者養成、ふれあい福祉フェスタ等、社会参加支援
- 地域自立支援推進事業 5万円
↳障害の理解啓発推進



重層的支援

- 権利擁護支援事業 35万円

総括啓発

- オレンジのまちづくり推進事業 242万円
↳啓発、イベント開催

子育て施策

- こども家庭包括サポート事業 31万円
↳ヤングケアラー啓発
↳児童虐待防止啓発
- ベビーファースト推進事業 114万円
↳子育てにやさしいまちづくりの機運醸成
- ファミリー・サポート・センター運営事業 67万円
↳相互援助活動の実施
↳相互援助活動研修会



※各事業予算のうちオレンジのまちづくり関連経費を記載しています。

Ⅲ-③ 市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

インターネット上の誹謗中傷等の対策に取り組みます

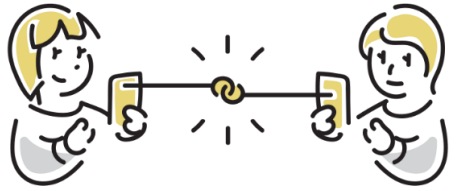
ネット上の人権侵害及び 被害者支援に関する条例推進事業 110万円

P.40
人権推進室

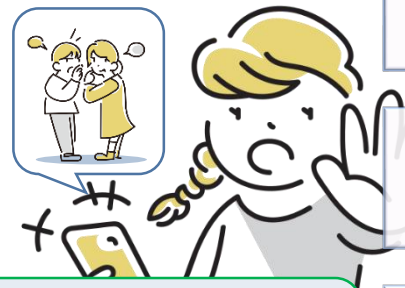
だれもがインターネット上の誹謗中傷や差別等の被害者にも行為者にもならない、基本的人権を尊重しながらインターネット上の恩恵を享受できる地域社会を実現するための施策を推進します。

(主な取組)

- ◆あらゆる年代に応じたネットリテラシー教育及び啓発
- ◆不当な差別的言動に係る侵害情報の削除要請
- ◆被害者及び行為者への相談支援 等



いったんインターネットに書き込まれた情報は容易に削除することができず、残り続けるおそれがあることから、誹謗中傷や差別等の未然防止及び被害者への支援が必要となります。



インターネットリテラシーの教育・啓発

- ・年代に応じたインターネットリテラシー教育やインターネット上の誹謗中傷等の現状を認識するための啓発などを行います。

被害者の相談支援

- ・相談体制を整備するとともに関係機関との連携を行います。

行為者を発生させない

- ・誹謗中傷等を抑制し、さらなる被害の拡大防止のため相談、助言、情報提供、指導などを行います。

被害を拡大させない

- ・不当な差別的言動に係る侵害情報に対し、必要に応じて意見表明、削除要請、説示助言を行います。

難聴者(児)の補聴器購入に対して切れ目のない支援を行います

拡充 難聴者(児)補装具給付事業 37万円

P.49
障害者福祉課

これまで、軽度及び中度の18歳未満の難聴児に対して言語の習得等に一定の効果が期待できると医師が判断した場合に補聴器の購入や修理の費用を助成していました。新たに18歳以上65歳未満の軽度及び中度の難聴者に対し、自立した社会生活と経済的負担の軽減を目的に本市独自の補聴器購入・修理に係る助成を行います。

(主な取組)

	府制度(現行)
補聴器装用対象者	18歳未満の軽度及び中度の難聴児
所得制限	なし
助成内容	購入費の2/3を補助(基準額・上限額あり)



市制度(令和8年度～)【拡充】

18歳以上65歳未満の軽度及び中度の難聴者
あり (市民税非課税世帯・生活保護世帯)
購入費の1/2を補助 (基準額・上限額あり)

Ⅲ-③ 市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

子育てにやさしいまちづくりを推進します

拡充 ベビーファースト推進事業 236万円 P.46
こども家庭支援課

「福知山市ベビーファースト宣言」『みらいに かがやく ふくちっこ～コドモ、オトナが笑顔でつながる福知山』のスローガンと5つのアクションプランにもとづき、事業者、地域団体等と一緒に子どもを産み育てたくなる社会を実現していくために、子育てを応援する取組みを推進し、子育てにやさしいまちづくりを進めます。

- (主な取組)
- ◆子育てにやさしいまちづくりの機運醸成【拡充】
 - ◆子育て世代が集い、交流する環境づくり
 - ↳地域子育て支援拠点「りとるハピネス」の運営
 - ◆企業や地域事業者と連携した子育て支援事業
 - ↳こども向け親子スポーツ教室等のイベント開催



様々な活動の様子

私たちの アクションプラン	 みらいに かがやく ふくちっこ コドモ、オトナが笑顔でつながる福知山	集まる つながる機会を 大切にしよう	ベビーファースト 推進市民会議 (仮称)立ち上げ
子育てにやさしい 店舗・施設を めざそう	おむつ回収 BOX設置	みんなに 情報を 届けよう	LINEによる 情報発信の 充実
安心の 職場づくりを すすめよう	イクボス 研修会開催	周りの人を 大切にしよう	包括的 性教育の 推進

アクション推進における庁内の主な連携部署等

女性活躍推進（人権推進室）、企業への周知・啓発（産業課）、地域への啓発セミナー（人権推進室）、まちづくり活動応援補助（まちづくり推進課）、教員向け研修（学校教育課）、保育士向け研修（幼保支援課）

Ⅲ-③ 市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

若者の声をより施策の評価等に反映します

拡充

子ども・子育て支援事業計画推進事業
73万円

P.52
こども
福祉課

令和6年度には「第3期福知山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、令和7年度には「福知山市こども・若者計画」を策定します。

また、「子ども・子育て会議」を設置し、委員の皆さんに計画の進捗状況の評価やこども等に係る施策の審議を行っていただいています。
(主な取組)

- ◆子ども・子育て会議における計画に基づく施策の進捗状況の評価及びこども等に係る施策の審議
 - ↳こども・若者の意見を事業や目標へ反映するために、令和8年度から高校生委員等を2名追加【拡充】

妊婦に対する新たな定期予防接種を始めます

新規

RSウイルス予防接種事業
1124万円

P.56
こども家庭支援課

RSウイルス予防接種が予防接種法に基づく定期接種に位置づけられたことから、令和8年4月1日より妊婦に対する定期予防接種を開始し、出生後間もない乳児の感染を予防します。

(主な取組)

- ◆妊婦への定期予防接種を実施【新規】
 - ↳対象者：
妊娠28週から37週に至るまでの妊婦
 - ↳接種回数：1回の妊娠につき1回



ニーズに応じて産後ケアの機会を拡充します

拡充

子育て世代包括支援センター事業
(母子保健型)
1398万円

P.48
こども家庭
支援課

妊娠期から子育て期にかけて、個々の状況に応じて切れ目なくサービスを提供することで、不安なく妊娠・出産・子育てができるように支援しています。

産後ケア事業では、助産師や保健師が育児相談、発育・発達相談を行い、母親が安心して休息をとることができるように支援することで母親の身体的回復と心理的な安定の促進につなげます。

(主な取組)

- ◆産後ケア事業(通所型:集団)をより多くの人が利用できるよう、回数を増やして実施します。【拡充】

年度	R6	R7	R8
実施回数	21回	39回	112回
定員枠	63人	117人	336人



カフェタイムの様子



会場 (大呂自然休養村センター)

Ⅲ-③ 市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

将来の公立保育園・こども園等のあり方を考えていきます

拡充 公立保育所運営事業 4億603万円 P.53 幼保支援課

教育・保育を必要とするこどもの成長の一助を担うために、良好な保育環境の提供、きめ細かな支援のために、公立保育園・こども園の運営を行っています。

本市における少子化や子育てニーズに対応するために、将来の公立保育園・こども園等のあり方を検討していきます。

- (主な取組)
- ◆公立保育園・こども園の良好な施設運営管理
 - ◆市の教育・保育の質の向上・共働き世帯等への就労支援
 - ◆公立保育園・こども園等全体のあり方検討
 - ↳施設の老朽化・少子化等をふまえた今後の方向性を検討するため子ども・子育て会議に委員だけでなくアドバイザーも参加【拡充】

老朽箇所や環境改善のための整備・改修を計画的に行います

放課後児童クラブ整備事業 2億3100万円 P.58 生涯学習課

近年、共働き世帯の増加等に伴い、放課後児童クラブの利用者が低学年を中心に増加している施設があります。また、配慮等を必要とする利用児童も増加傾向にある中、保護者が安心して就労ができ、児童が更に安心・安全に生活できるための施設を整備し、クラブ環境の向上を図ります。

- (主な取組)
- ◆惇明放課後児童クラブ棟新設工事
 - ◆旧大正放課後児童クラブ棟解体工事
 - ◆庵我放課後児童クラブ照明設備改修工事

継続費(単位:千円)	
年度	惇明放課後児童クラブ棟新設工事継続費設定
R8	126,000
R9	84,000
合計	210,000

「こども誰でも通園制度」を始めます

拡充 保育所委託事業 32億9304万円 P.55 幼保支援課

子ども・子育て支援法による給付制度に基づき民間認可保育所に保育の実施を委託し、また認定こども園及び小規模保育事業所に対して給付費を支払い、保育環境の充実を図ります。また、令和8年度から新たに乳児等通園支援制度(こども誰でも通園制度)を実施します。

- (主な取組)
- ◆民間認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所に対し運営に必要な経費を支出
 - ◆保護者の就労要件を問わず保育所等を利用できる乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を開始【拡充】
 - ↳良質な生育環境の整備・子育て家庭に対する支援の強化

こども[★] **誰** [★]でも
通園制度

(こども家庭庁作成のリーフレットより引用)

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

④ 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、 自分らしく学びを深められるまち

誰もが、何歳になっても
自らの成長を実感しながら暮らせるまちづくりを推進します。

子どもたちには、成長する喜びを覚え、
様々なことに挑戦する意欲が持てるよう、
学びや体験の機会を充実させます。

また、地域独自の有形・無形の文化財や
福知山公立大学の存在を生かしながら、
人生を豊かにするために
生涯を通じて学べる場づくりを進めます。

Ⅲ-④

市民一人ひとりが、 いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

特別教室等への空調設備整備を計画的に実施します

小学校施設環境改善事業 6863万円
中学校施設環境改善事業 9967万円

P.61
教育総務課

各小中学校において空調設備を必要とする特別教室への整備を計画的かつ段階的に進めます。あわせて児童生徒の安全確保、教育環境の改善及び避難所の環境改善の推進に向けて、体育館施設への空調設備整備を新たに段階的に実施します。

(主な取組)

- ◆特別教室への空調設備設置
- ◆学校体育館への空調設備整備に向けた設計業務の実施



市内学校体育館

子どもたちの芸術・文化体験やキャリア教育の機会を確保します

響プランF心の充実事業 3225万円

P.65
学校教育課

響プランF(福知山市立学校教育内容充実プラン)に基づき、充実した体験活動を支援することにより、子どもたちの豊かな心とあらゆる可能性を伸ばす教育を進めます。

(主な取組)

- ◆様々な体験の機会となる
修学旅行への費用補助
- ◆「本物」の芸術・文化体験
(中学1年生・小学4年生)
- ◆心の充実体験活動
(歴史・文化学習や体験活動等)



学校で「能」を鑑賞しました

福知山市ならではの部活動地域展開「福知山モデル」の構築へ

中学校部活動地域移行検討事業 773万円

P.64
学校教育課

少子化による生徒数の減少等から学校部活動の維持が困難になる中、中学生がスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができるよう、地域における持続可能で多様なスポーツ・文化環境の確保と充実をめざします。

(主な取組)

- ◆部活動地域展開の実証
- ◆検討会議での実証状況共有と持続可能な部活動地域展開のあり方検討
↳運営上の具体的な課題を検討



市内中学校吹奏楽部員による
Brass Fes Fukuchiyamaの様子

国際交流体験でグローバルな人材への成長を促します

はばたけ世界へ 中学生短期留学事業 1610万円

P.63
生涯学習課

新たな価値観や多様性を受け入れ未来を切り拓く、国際感覚や人権感覚を持った人材の育成を図るため、海外短期留学を実施し、次代を担う中学生が、国際交流を通じて成長できる契機とします。

(主な取組)

- ◆10日間の海外短期留学(カナダ)

令和8年8月に中学2年生
15人を対象に実施予定

- ◆応募者全員研修会「異文化理解・コミュニケーションの実践」の開催
- ◆留学者への事前学習会開催
- ◆留学者の成果発表報告会



現地学生との交流(R7.8) 20

Ⅲ-④ 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

著しい給食食材費等の高騰に対する支援を行います

拡充 学校給食管理運営事業 6億2480万円

P.60
学校給食
センター

市立小中学校の児童生徒の心身ともに健やかな成長に寄与するため、安心安全な学校給食を提供します。

給食食材費等が高騰し、給食の質・栄養バランスの確保と保護者負担の軽減を両立することが課題となる中、国の給食費負担軽減交付金と地方創生臨時交付金（重点支援地方交付金）を活用して子育てしやすい環境づくりと子どもたちの健やかな成長を支えます。

（主な取組）

- ◆全市立小中学校の学校給食を提供
 - └学校給食センターの運営・維持管理及び調理・配送
- ◆学校給食費の公会計事務
 - └学校給食費の決定、調定・収納及び債権管理
- ◆市立小学校の学校給食費の支援【拡充】



令和8年1月21日メニュー
「焼き肉屋のしか牛そばろ」他

小学校の学校給食費については、国の給食費負担軽減交付金を活用しますが、補助基準額を超過する分についても、令和8年度に限り国の地方創生臨時交付金（重点支援地方交付金）を充当し、保護者の費用負担をなしにします。

令和8年4月から、初の教職課程を情報学部を設置

福知山公立大学運営費交付金事業 8億119万円

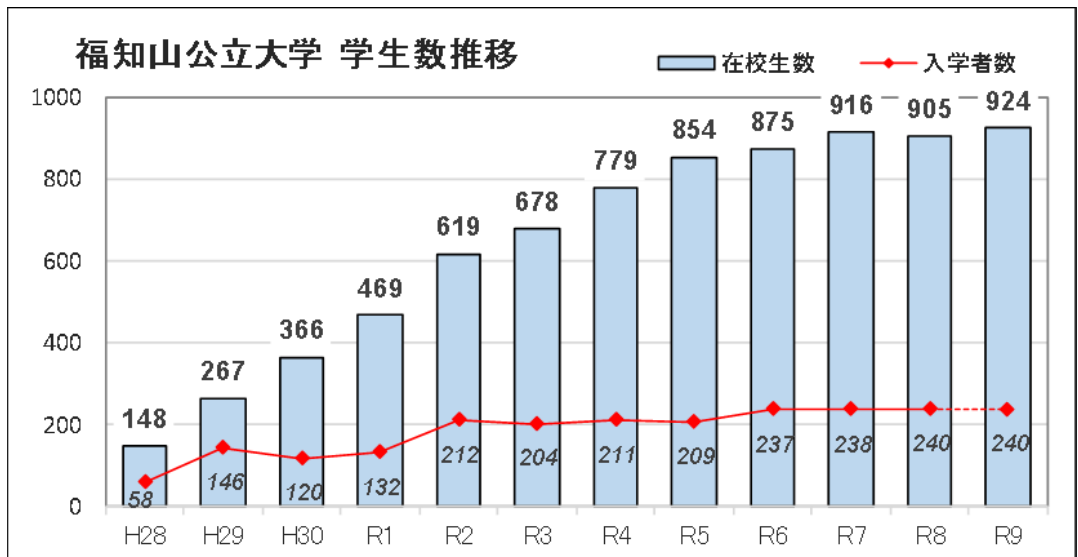
P.66
経営戦略課

福知山公立大学は「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」という基本理念のもと、持続可能な地域社会の形成・地域創生に向けた社会貢献をめざしています。

また本市を中心とした北近畿地域の課題解決などに取り組むとともに、令和6年4月に開設した「大学院地域情報学研究科」では、研究成果を社会実装し地域に還元することを目的のひとつとするなど、地域とともに成長する大学をめざします。

（主な取組）

- ◆運営費交付金により法人の運営に必要な経費を支援
 - └大学の安定的かつ健全な運営を図る



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑤ 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、 健やかで活動的なまち

肉体的にも精神的にも
健康的な生活をおくることができるように、
プライベートな空間での活動的な環境づくりを推進します。

生涯を通じた健康づくりはもとより、
スポーツや文化芸術活動をはじめとした、
自分らしい生きがいを持つ、
生活の質に着目したまちづくりを進めます。

Ⅲ-⑤

市民一人ひとりが、 その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

「福知山KENPOS」でココロもカラダもアクティブに！

アクティブシティ推進事業 980万円

P.70
健康医療課

誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民団体、民間企業等と協働して取り組みます。

(主な取組)

- ◆市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の活用推進
- ◆アクティブシティの取組推進
 - ↳アドバイザーによる企画事業
 - ↳アクティブシティ推進事業を実施する団体への補助

KENPOS



まちなかウォーキングの様子

がんになっても安心して生活できるまちをめざす

がん患者のための生活支援事業 190万円

P.67
健康医療課

がん治療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加しています。がん患者とその家族の生活の質の向上を図り、がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会の実現をめざします。

(主な取組)

- ◆がん治療に伴う外観変化(アピアランス)をケアするための費用の一部補助
- ◆在宅療養を希望する18～40歳未満のがん患者が在宅サービスを利用するための費用の一部補助



若年層向けコンテンツ開発を通じてドナー登録者数増をめざす

拡充 献血・骨髄バンク推進事業 102万円

P.72
健康医療課

福知山市は令和2年に「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」を行いました。令和7年度は福知山公立大学との連携により大阪・関西万博で啓発活動を実施しました。

(主な取組)

- ◆学校や企業に向けて献血と骨髄バンクに関する啓発を実施
 - ↳市内学校出前講座や市内外イベントでのブース参加
 - ↳都市宣言啓発活動【拡充】
- ◆献血・骨髄バンク関連補助・助成事業



大型パネルを使った啓発の様子

令和8年度も市による独自接種支援を継続して実施

带状疱疹ワクチン接種事業 4469万円

P.69
健康医療課

令和7年度から高齢者の带状疱疹ワクチン予防接種が、予防接種法に基づく定期接種に位置づけられており、引き続き対象者が円滑に接種できる体制を整えます。また、定期接種対象外の人が接種される場合には、本市独自の助成制度により、接種費用を助成します。

(主な取組)

- ◆定期接種分の実施
 - ↳生ワクチン:自己負担金4000円で接種(1回あたり)
 - ↳組換ワクチン:自己負担金10000円で接種(1回あたり)
- ◆任意接種分の支援
 - ↳生ワクチン:3000円の助成(1回あたり)
 - ↳組換ワクチン:8000円の助成(1回あたり)

(注)定期接種、任意接種それぞれに対象者の規定があります

Ⅲ-⑤

市民一人ひとりが、 その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

市民の手で再建した天守閣の節目の年に記念企画を行います

新規

**福知山城天守閣再建40周年記念事業
514万円**

P.73
文化・スポーツ
振興室

令和8年は、昭和61年に市民による「瓦1枚運動」により福知山城天守閣が再建されてから40周年となる節目の年になります。

観光拠点としてだけでなく福知山城の歴史的価値や再建の様子を知る企画を行い、市内外に発信することで地域への誇りを醸成するとともに、交流人口の拡大を図ります。

(主な取組)

- ◆福知山城再建に関するパネル展
- ◆福知山城二代目城主
豊臣秀長に関する資料の展示
- ◆限定デザインの記念切手・御城印を
制作・販売
- ◆福知山城PR動画の制作
- ◆令和8年度は開館日を増やし、
年末年始のみ休館



福知山城御城印



令和9年2月頃に
桜の植樹を予定



福知山城

めざせ来館者数5%増！今年の特別展もお楽しみに！

拡充

**佐藤太清記念美術館企画・
展示品等充実事業 291万円**

P.74
文化・スポーツ
振興室

本市出身の日本画家佐藤太清画伯の作品を保存・公開し、文化振興の拠点としての役割を担っている佐藤太清記念美術館では、近年来館者の減少が課題となっています。令和7年度に非常に多くの来館があった漫画家こうの史代さんの原画展に続き、令和8年度においても特別展を実施し、市民文化の発展に取り組みます。

(主な取組)

- ◆リト@葉っぱ切り絵展(特別展)【拡充】
- ◆高校アート展
- ◆福知山市・京都工芸繊維大学
連携企画展
- ◆ちいさな絵画展



【作品名】葉っぱのアクアリウム



【作品名】たまにはのんびり、
葉根ものばさなくちゃね

Ⅲ-⑤

市民一人ひとりが、 その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

いよいよ、ワールドマスターズゲームズまであと1年！

国際大会等開催準備事業

2688万円

P.76 文化・スポーツ振興室

「令和8年度全国高等学校総合体育大会」及び令和9年(2027年)5月の「ワールドマスターズゲームズ2027関西」が、本市の三段池科研電機テニスコートで開催されることから、これを本市におけるスポーツ振興をさらに加速する好機と捉え、引き続き市民がスポーツに親しむ機会を創出し、スポーツを通じたまちの活性化を進めます。



つなげみんなの想い
輝け近畿の舞台で



(主な取組)

- ◆ワールドマスターズゲームズ2027準備関連事業
- ◆令和8年度全国高校総体(インターハイ)開催関連事業

国の交付金を活用して地域の安全を守る団体を支援します

拡充 安心・安全まちづくり推進事業

374万円

P.77
市民課

市民が安全で安心して生活することができる地域社会の実現に向けて市内の公共空間に防犯カメラの設置及び設置への補助を行うことで、市民の安心感の向上及び犯罪抑止に努めます。

(主な取組)



- ◆公共空間への防犯カメラの設置(1箇所)
- ◆自治会等が地域に設置する防犯カメラの購入・設置費用を一部補助【拡充】
↳補助内容:事業費の2分の1以内
(上限10万円・1団体1台)



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑥ 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、 温かく見送られるまち

高齢期になっても、住み慣れた地域で
自分らしい生活を最期まで続けることができるように、
地域の実情に見合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が
一体的に提供される地域包括ケアシステムを
生活インフラとして定着・充実させます。
そのために、介護や医療体制の整備を推進します。

Ⅲ-⑥

市民一人ひとりが、 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

住民主体の「通いの場」の充実・拡大に向けた地域づくりを推進します

地域介護予防活動支援事業（重層的支援体制整備事業） 277万円

P81
高齢者
福祉課

拡充

年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開をめざします。

（主な取組）

- ◆貯筋体操（出向き型事業）への
体操指導者の派遣
↳体操講師謝礼（3000円/回）を
令和8年度は全額市が負担【拡充】
- ◆体操指導者育成講座の実施
- ◆介護支援サポーターの養成及び活動支援



みんなで集まって貯筋体操！

65歳以上の難聴者の補聴器購入費用を補助

新規

高齢者補聴器購入費助成事業 161万円

P.78
高齢者
福祉課

難聴の高齢者が補聴器を装用することで、閉じこもりや認知機能等の低下を防ぎ、積極的に社会参加や地域交流ができるよう、補聴器購入に要する費用の一部を助成します。

（主な取組）

- ◆65歳以上の難聴者の補聴器
購入費用助成
（医師が必要と認めた方に限る）
↳購入費用の半額
（上限2万円・1人1回限り）



耳掛け型の補聴器

高齢化社会でますます増大する介護需要には介護人材の確保が不可欠です

拡充 介護人材確保対策事業 4496万円

P.79
高齢者福祉課

高齢化が進み、ますます介護が必要な方の増加が見込まれる中、介護人材不足への対処は喫緊の課題であり、介護人材の確保・育成・定着に向けた各種支援を行います。

（主な取組）

- ◆介護職員初任者研修受講料助成
- ◆介護福祉士実務者研修受講料助成
- ◆介護人材定着支援金
↳市内事業所に勤務後3年間で60万円を支給
- ◆外国人介護人材定着支援金
↳市内事業所に勤務後5年間で60万円を支給

【拡充】

老人福祉法に基づく施設（養護老人ホーム、ケアハウス等）を補助対象に加えました。

- ◆介護支援専門員等研修受講料助成
- ◆介護福祉士育成修学資金貸付
- ◆医療的ケア研修受講料助成
- ◆福祉人材PRプロジェクト事業
↳行政及び市内の介護事業所等が協力して啓発イベントを実施
↳小中学生を対象として介護職種の魅力を発信



令和7年度の
啓発イベントの
様子

Ⅲ-⑥ 市民一人ひとりが、 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

医療提供体制に万全を期すとともに、新棟建設事業(第1工区)の完成をめざします

施設整備事業（市民病院）	7億7056万円
（大江分院）	786万円

P.132
病院事務部総務課

医療機器等整備事業（市民病院）	2億9532万円
（大江分院）	3540万円

P132
病院事務部総務課

継続費（単位：千円）	
年度	本院無停電電源装置更新事業
R8	75,200
R9	112,790
合計	187,990

市民病院は、地域の中核病院として、高度で多様な医療ニーズに対応できるよう、引き続き医療スタッフの確保と医療機能の充実に努めます。令和8年度は、放射線科の治療計画装置等のシステムをはじめとした医療機器の更新や、経年劣化による本院無停電電源装置や救命救急棟3階系統の空調機更新などを進め、医療提供体制に万全を期すとともに、現在進めている新棟建設事業(第1工区)の完成をめざします。

大江分院は、全身用X線CT装置や病室空調機などを更新するほか、引き続き訪問診療や訪問看護等の在宅医療を推進するなど、地域に密着した医療提供に努めます。また、市民病院と連携しながら将来の地域医療を担う総合診療専門医の育成施設としての機能を推進します。

（主な取組）

市民病院

- ◆新棟建設事業(第1工区)
- ◆本院無停電電源装置更新
- ◆放射線科治療計画装置ハードウェアの更新
- ◆医療情報システム更新支援業務

債務負担行為（単位：千円）		
事 項	期 間	限 度 額
医療情報システム更新支援業務	令和8年度から令和11年度まで	55,600千円

大江分院

- ◆全身用X線CT装置更新
- ◆病室空調機更新



全身用X線CT装置【イメージ】

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑦ 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、 多様な働き方が生かされるまち

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、
働く意欲のある人が働く場を得られるように、
また、ライフスタイルに応じた多様な働き方や
育児・介護と仕事が両立できるように、
制度設計や民間事業者への働きかけを総合的に推進します。
同時に、企業・事業者のニーズを踏まえつつ、
スキルアップの機会充実や市外への発信力の強化などの
環境整備を進めます。

奨学金の返済に悩む若者や人材不足に悩む中小企業者等を支援します

奨学金返済負担支援事業 78万円

P.84
産業課

市内中小企業者等の人材確保を支援するとともに、高等学校、高等教育機関(大学、短期大学、専門学校等)を卒業した若者の市内就職の促進を図ります。

中小企業事業主のみなさまへ!!

～京都府が実施する奨学金返済支援制度の上乗せ補助～

奨学金返済負担支援制度 導入企業募集案内について

奨学金支援制度って、なに?
⇒企業が奨学金を返済している従業員に対し、手当を支給することで奨学金返済を支援する社内制度のことです。

4つのメリット

1. 人材の確保・定着

2. 企業イメージの向上

3. 従業員モチベーションの向上

4. 法人税の課税負担軽減

令和8年度の事業の詳細については、市ホームページ等で改めてご案内します!

(主な取組)

- ◆京都府が実施する「就労・奨学金返済一体型支援事業」への上乗せ支援
 - ・補助対象者……京都府が実施する就労・奨学金返済一体型支援事業補助金による手当制度を利用し、市内に本店又は主たる事務所を有する中小企業者及びその他の法人(一般社団法人、公益社団法人、医療法人等)
 - ・補助対象経費……従業員1人あたり年額18万円以内
 - ・補助期間……補助対象となる従業員ごとに3事業年度
 - ・補助率……従業員への支給額の4分の1以内

保育士の場合、保育士確保対策事業によりさらに事業者負担を軽減します。

働く女性を支援するための仕組みづくりを進めます

拡充 女性活躍推進事業 648万円

P.83
人権推進室

「第4次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2021後期計画」に基づき、女性が本人の希望や能力に応じて活躍できる環境整備を進め、就業継続や再就職、キャリア形成を支援するとともに、事業所や地域における意識改革を促進しダイバーシティの視点を地域全体に広げることにより、多様な人材が活躍できる地域づくりを推進します。

(主な取組)

- ◆働く女性を支援するメンターの育成と社外メンター派遣のモデル実証【拡充】
- ◆キャリア形成・ネットワークづくりのためのセミナー開催
- ◆メンターネットワーク構築に向けた計画策定【拡充】
- ◆地域で啓発セミナーを開催し、ダイバーシティへの理解を促進【拡充】



働く女性セミナーでのグループワーク

ネットワーキングフォーラム参加者のみなさん

Ⅲ-⑦

市民一人ひとりが、 生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

世代や経験に応じたきめこまかいデジタル人材育成講座を開講します

デジタルワークカレッジ運営事業 362万円

P.85
経営戦略課
DX推進課

少子高齢化や労働人口の減少が進む中、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進やデジタル技術を活用できる人材の育成・確保が重要となっています。また、デジタル技術は特定の世代に限らず、将来の地域を担う若年層から現役世代まで、幅広い層にとって必須のスキルとなりつつあります。

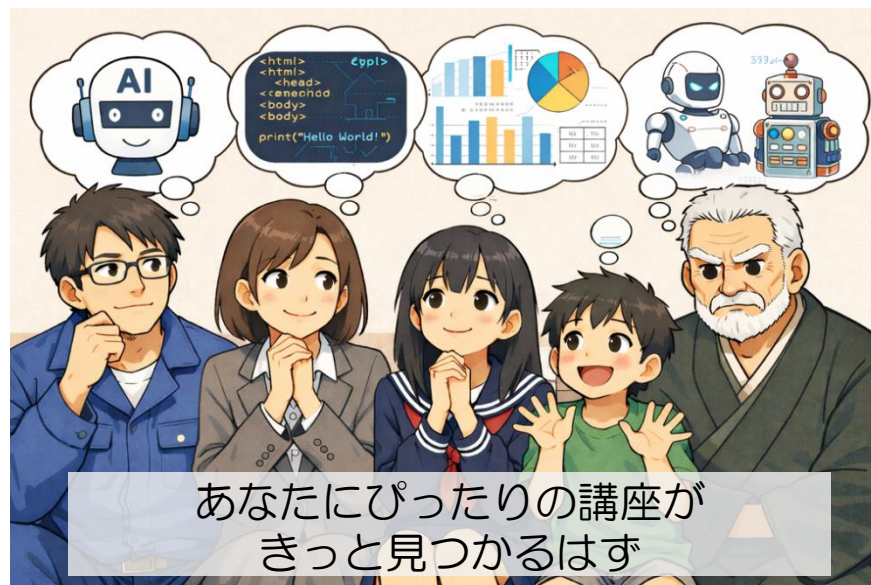
本事業では、福知山公立大学の知見を活用し、多様な世代を対象に、基礎的な情報リテラシーの向上から、実社会で活用可能な情報スキルを学べる教育プログラムを開講し、デジタル人材の育成を図ります。

(主な取組)

- ◆幅広い世代を対象に、ITやAIの知識や技術を身につけるための情報教育プログラムを実施
- ◆高校生以上の世代を対象に、受講者の経験や目的に応じてデータサイエンスやプログラミングを学べる講座を開講
- ◆小・中学生を対象に、楽しみながらITに触れることでITの知識や技能を高め、論理的思考や発想力を高めるプログラミング教室をそれぞれ2講座ずつ、1日完結型で実施
- ◆市民や事業所を対象として、AIの現在と将来について認識を持ち、AIが今後の暮らしや働き方とどうつながるのかを学んでいただくため、AIの連続講座を開催



専門性を高める「発展編」(イメージ)



小中学生向けの1日講座(イメージ)

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑧ 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、 地域産業の発展に貢献できるまち

本市のみならず北近畿の地域経済の礎となってきた
長田野工業団地の企業定着やさらなる発展に向けて、
同アネックス京都三和も合わせた各般の取組を推進します。
同時に、本市の地域産業の強みや特質を見極めつつ、
かつ産学労金などとの連携を密にしながら、
新しい情報や技術を積極的に取り入れる
進取の産業振興を進めます。

Ⅲ-⑧

市民一人ひとりが、

時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

国内外から福知山市への観光誘客、消費拡大等を推進

観光アクションプラン推進事業 3030万円

P.89
商業観光課

近年、インバウンドを中心とした観光客が全国で急速に増加しており、観光産業が日本の重要な成長分野となっています。こうした機運を捉え、令和6年度に市内の観光団体等と連携して、「福知山観光アクションプラン」を策定し、インバウンド、滞在型観光(宿泊客、日帰り客)等のターゲットや各団体の役割を明確化しました。

引き続き、令和8年度も「福知山観光アクションプラン」に基づく官民連携の戦略的な観光施策を展開するほか、再建40周年を迎える福知山城を市内外に発信することで、国内外から福知山市への観光誘客、消費拡大等を推進します。



晴天に映える福知山城

(主な取組)

◆観光ビジョン「福知山城から広がる 福がいっぱい福知山」の取組

◆観光誘客促進の取組

↳ツアー造成補助金、アンテナショップ(福知山ちゃった)等での特産品の販路拡大、食イベント・「福知山イル未来と」の開催等

◆福知山城景観整備、老朽化した看板の改修・修繕

◆観光プロモーションの取組(SNSによる情報発信、観光マップ作成等)

「福知山城から広がる 福がいっぱい福知山」ロゴマーク



福知山市の街中に溢れる「福」(観光資源)の発信、魅力向上に寄与する目的であればどなたでも使用できます(※使用ガイドラインあり)

「見る」から「できる」へ…和紙伝承館が変わります

新規 和紙伝承館魅力向上事業 261万円

P.91
大江支所

丹後二俣紙の文化と技術の啓蒙・継承・発展を目的に開館し、昨年に30周年を迎えた和紙伝承館について、更なる魅力向上のため、体験型施設への転換や観光DX・インバウンド対策等に取り組めます。

(主な取組)

◆幅広い観光客獲得のための施設・体制整備



手漉き和紙体験の様子

大学生の力も活かしていっそう魅力的な鬼瓦公園を

新規 鬼瓦公園再生事業 293万円

P.92
大江支所

鬼瓦公園は地域住民に親しまれる公園であり、また、大江駅前立地の観光資源として観光客にとっても重要な玄関口です。地元大学と連携して誘客促進を図るためのリニューアルに向けたデザイン立案等を行います。

(主な取組)

◆鬼回廊等の修繕

◆地元大学と連携し、鬼瓦公園のリニューアルデザインを立案



鬼の回廊

Ⅲ-⑧

市民一人ひとりが、

時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

「ファームガーデンやくの」を中心に夜久野高原の活性化を

拡充 やくの高原活性化事業 8667万円

P.87
夜久野
支所

「ファームガーデンやくの」を中心とした夜久野高原全体の再構築に向け、「やくの高原活性化検討委員会」を立ち上げ、令和7年4月に「やくの高原活性化方針」を策定しました。この方針を踏まえ、令和7年12月に公募型プロポーザルにより事業者公募を実施、令和8年2月に事業者を決定しました。

今後、事業者提案を基に、本施設を体験型・滞在型観光拠点へと再整備し、地域の賑わい創出及び経済活動の活性化等を図ります。

【拡充】

(主な取組)

◆[ファームガーデンやくの]
リニューアル及び老朽化
施設改修に係る設計

※令和8年度:実施設計
令和9年度:整備工事
令和10年度:

リニューアルオープン予定



ファームガーデンやくの(全景)

農業者が自ら「稼ぐ」ための様々な取組を支援します

稼げる農業応援事業 309万円

P.96
農業振興課

自らが「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援するために、市内外への農産物の販路拡大や商品開発をめざす取組を支援するとともに、農業者向けの講座を開催し、農業者の所得向上を図ります。

(主な取組)

◆工農もん認定品等福知山産農産物のPR・販路拡大支援

◆農業所得の向上につながる販路
開拓や商品開発等の取組に対して
補助金を交付

◆高付加価値かつ環境にやさしい米
づくりを行う農業者に対して取組
面積に応じた補助金を交付



市民交流プラザでの講座の様子

「丹波くり」の販路拡大等に向けた取り組みを進めます

拡充 丹波くり振興事業 383万円

P.97
農林整備課

「福知山産丹波くり」の生産量の拡大及び高品質化・ブランド化に向け、生産者に向けた支援制度・取組を重点的に進めます。

(主な取組)

◆丹波くりの新植・改植、有害鳥獣防除
施設整備等の取組支援

◆福知山市アンテナショップ「福知山
ちゃった」(大阪市中之島)と連携
した催事実施

◆販路拡大等に向けた施策展開のための
生産者基礎調査【拡充】 ほか



大阪市での催事の様子(R7)

Ⅲ-⑧

市民一人ひとりが、
時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

住民の生活を守るハンターの活動を支えます

有害鳥獣捕獲事業 9393万円

P.95
農業振興課

有害鳥獣による農作物被害が全国的に問題となる中、本市においては農作物被害を減少させることを目標とし、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を実施しています。



- (主な取組)
- ◆有害鳥獣駆除隊員に対し、捕獲実績に応じた報償金支出
 - ◆新規の狩猟免許取得費用、ハンター保険加入費用を支援
 - ◆危険鳥獣の緊急銃猟に備えた机上訓練・射撃訓練の実施

トップレベルの起業家・投資家の考え方を直接学ぶ

NEXTふくちやま産業創造事業 596万円

P.93
産業課

持続可能な経済社会の担い手となるスタートアップ企業の創出に取り組むとともに、地域内外の人や企業が繋がる「地域間ネットワーク」の構築と先進的企業の誕生、連携、集積という循環を地域主体が自律的に回す「地域エコシステム」を生み出し、福知山の次世代を担う新たな企業や産業の創出、集積をめざします。

- (主な取組)
- ◆NEXT産業創造プログラム ほか
↳社会人等を対象とした起業支援プログラムを開催し次世代を担う人材を育成



福知山市企業交流プラザが新たな産業振興の交流拠点として生まれ変わります

新規 (仮称) 福知山市企業交流プラザ基本設計事業 3460万円

P.88
産業課

長田野工業団地内にある企業交流プラザが竣工から50年を迎えたことから、施設の今後のあり方について検討する「あり方検討会」を設置し、令和7年2月に提言を受けました。この提言を踏まえて策定した「(仮称)福知山市企業交流プラザ基本計画」をもとに、「長田野工業団地の活性化と地域経済の発展に貢献する産業振興の交流拠点」を基本理念とし、交流を通じて新たな技術や価値が創造される地域全体の産業振興拠点となる新たな施設整備を進めます。

- (主な取組)
- ◆基本設計業務
↳環境先進性や外構工事規模によるコスト比較等を行いながら、施設整備の内容を固めるための基本設計業務を委託します。
 - ↳基本設計の内容については専門家からアドバイスを受けながら、施設を訪れる人の感性が刺激され、対話を通じて生まれる気づきが新たな価値を創出し、イノベーションを誘発するアートの視点にも配慮した施設になるよう検討します。

区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基本計画策定	◀▶					
設計	基本設計	◀▶				
	実施設計		◀▶			
	解体設計		◀▶			
入札、契約等				◀▶		
解体工事				◀▶		
建築・外構工事					◀▶	完成

施設整備スケジュール
((仮称)福知山市企業交流プラザ基本計画より)

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

公共施設の長寿命化や機能集約に取り組み、
産業・生活基盤を整えるとともに、
防災・減災対策として、居住地の浸水対策、
治山・治水対策を進めます。

Ⅲ-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

市内3郵便局でマイナンバーカード交付申請のサポートを受けられます

拡充 マイナンバーカード交付等推進事業 1042万円

P.115
市民課

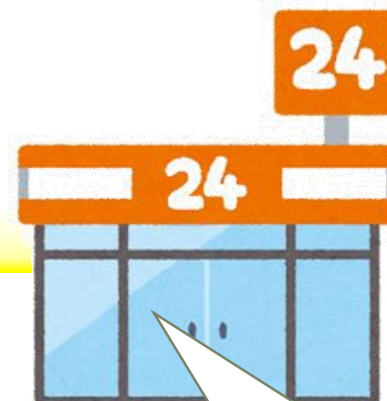
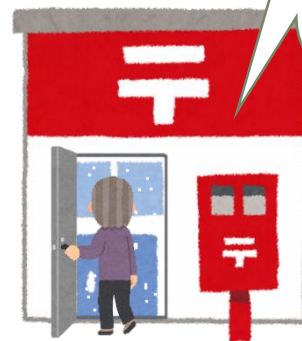
マイナポイント付与時にマイナンバーカードを取得された方の電子証明書更新や未成年者のカード更新が令和7年度から増加傾向にあり、写真撮影を希望される方も多いことから、窓口での待ち時間が長くなっています。

郵便局に申請書作成のサポートを委託し窓口を分散化することにより、窓口混雑の解消や待ち時間の短縮を図ります。

(主な取組)

- ◆マイナンバーカードの申請・交付・運用に係る業務
- ◆市内郵便局3局にマイナンバーカード申請書作成サポートを委託【拡充】

サポートが受けられる郵便局は、
福知山石原郵便局・福知山篠尾郵便局・雲原郵便局の3局です。
(サポート内容:申請書に貼り付ける写真の撮影、記入方法の説明など)



住民基本台帳システムの標準化にあわせて、コンビニ交付サービスをめざします

新規 コンビニ交付事業 3601万円

P.116
市民課

拡充 証明一般管理事業（コンビニ交付システム導入分） 626万円

P.116
税務課

住民基本台帳システムの標準化に伴い、市民交流プラザに設置している自動交付機が利用できなくなります。

こうした状況に対応するため、広く普及しているマイナンバーカードを活用したコンビニ交付システムを導入し、市民の利便性の向上を図ります。

(主な取組)

- ◆コンビニ交付システム構築
- ◆各種証明書類のコンビニ交付を導入【拡充】

発行可能な時間：
午前6時30分から午後11時まで

コンビニ交付ができる
ようになる証明書

- ・住民票の写し（謄本）
 - ・住民票記載事項証明書
 - ・印鑑登録証明書
 - ・戸籍全部（個人）事項証明書
 - ・附票の写し（全部・一部）
 - ・課税証明書
 - ・所得証明書
- など



Ⅲ-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

下六人部地域における浸水対策を進めます

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（道路河川課） 4200万円

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（農林整備課） 810万円

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（下水道課） 2億887万円

P.105
道路河川課

P.105
農林整備課

P.105
下水道課

※道路河川課分及び農林整備課分は一般会計で予算計上しています。下水道課分は下水道事業会計で予算計上しています。

平成26年8月豪雨をはじめとして、台風等の豪雨により家屋の浸水被害が発生した下六人部地区の浸水被害の軽減を図ります。（主な取組）



◆道路排水施設整備
↳排水構造物改修工事



◆農業用施設整備
↳ため池浚渫に係る設計業務委託



◆下水道雨水排水施設整備
↳雨水排水路新設工事

都市計画道路の整備を着実に進めていきます

街路整備事業 2億1121万円

P.101
都市・交通課

都市計画決定済みの都市計画道路の未整備部分について、将来交通需要及び都市構造を踏まえ、交通安全の確保及び道路ネットワークの補完・強化を目的として、沿線自治会や関係機関等と調整を図りつつ、優先度に応じて順次事業化することで、地域交通の安全性向上を図ります。

（主な取組）

◆土地購入及び物件補償

↳篠尾線（篠尾工区）、福知山綾部線（興工区）

〔債務負担行為額（令和8～11年度）〕

◆市町村負担金の支出

↳福知山綾部線（土工区）

都市計画道路用地の先行取得費用及びそれに伴う京都府土地開発公社借入に対する債務保証]



◆福知山綾部線・興工区



◆篠尾線



◆福知山綾部線・土工区

Ⅲ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

丘地区の4つの公共施設の機能を集約し地域の交流拠点として整備します

人権関連施設集約整備事業 6億5919万円 P.99
人権推進室

新規 人権関連施設集約整備事業（こども福祉課） 822万円 P.99
こども福祉課

「福知山市公共施設マネジメント基本計画」に基づき、老朽化の進む丘地区の4つの公共施設（丘児童センター、旭が丘教育集会所、夕陽が丘教育集会所、丘老人施設）の機能を集約した施設を整備します。新たな施設については、運営の効率化、余剰地の利活用、また避難所機能を強化し、ZEB化を図るなど、人口増加と高齢化が進む地域の将来を見据え、人権尊重と福祉のまちづくり推進のための交流拠点として整備します。

- （主な取組）
- ◆整備工事に係る施工監理業務・意図伝達業務【債務負担行為】
 - ◆丘地区人権関連施設集約整備工事

令和9年4月の開館をめざして現在整備工事を施工中です。
また、新たな施設の駐車場整備のため、用地整理等を行っていきます。

継続費（単位：千円）	
年度	整備工事
R7	395,800
R8	593,700
合計	989,500



現在の丘児童センター

来園者が快適に過ごすことのできる環境を整えます

福知山市動物園活性化事業 1120万円 P.104
都市・交通課

北近畿唯一の動物園である福知山市動物園（三段池RAVIHOUSE動物園）は、本市にとって主要な観光施設の一つです。老朽化した仕切りフェンスの更新や暑さ対策関連整備を実施し、来園者が快適に動物との触れ合いを楽しむことのできる環境を整えます。

- （主な取組）
- ◆動物園遊具設置工事
 - ◆暑さ対策関連工事
 - ◆仕切りフェンス整備工事



現在の仕切りフェンスの様子

地域公民館を長寿命化しつつ地域の拠点としての機能を高めます

地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業 3億4466万円 P.113
中央公民館

建築後40年以上が経過し老朽化の進む地域公民館の大規模改修を行います。地域福祉や地域コミュニティ活動の拠点として、「地域包括支援センター」、「地域住民センター」、「避難施設」としての機能を備え、地域住民同士のつながりを深め、安心・安全を確保した施設として改修整備します。

- （主な取組）
- ◆成和地域公民館・体育館改修工事

継続費（単位：千円）	
年度	改修工事
R7	225,600
R8	338,400
合計	564,000



上：成和地域体育館
左：成和地域公民館

Ⅲ-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

地域を結ぶ交通基盤を整備し、交通の利便性向上や災害時の避難経路の確保をめざします

地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備） 2億5000万円

地方版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)として策定した地域再生計画『持続可能な生活を支える基盤の整ったまち』に基づき、市内の道路網の整備を行います。交通の利便性の向上、地域間交流の促進を図るとともに、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図ることを目的とし、地域未来交付金により事業を実施します。

- (主な取組)
- ◆道路改良、舗装改良に係る工事、用地取得等
 - ↳ 笹場小野線、三段池動物園線ほか

P.109
道路河川課



笹場小野線



三段池動物園線

第2期棟の建設、入居者の転居、既存住宅の解体を順次進めていきます

つつじが丘・向野団地建替事業 7億3594万円

P.112
建築住宅課

「福知山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅つつじが丘団地、向野団地の統合建替を行うことにより、維持管理費の削減および市民の安心・安全と居住水準の向上を図ります。

- (主な取組)
- ◆第2期棟の建設(R6～R8)
- ◆既存住宅解体工事 ほか



第2期棟(建設中) 北東面



集会所(建設中) 東面

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基本・実施設計、 許認可申請		15か月				
建設工事			19か月		18か月	
入居				2か月		2か月
解体工事				9か月		6か月
余剰地						

事業スケジュール

III-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

老朽化した市営住宅の統合・建替に係る基本構想を策定します

南佳屋野団地ほか建替事業 400万円

P.111
建築住宅課

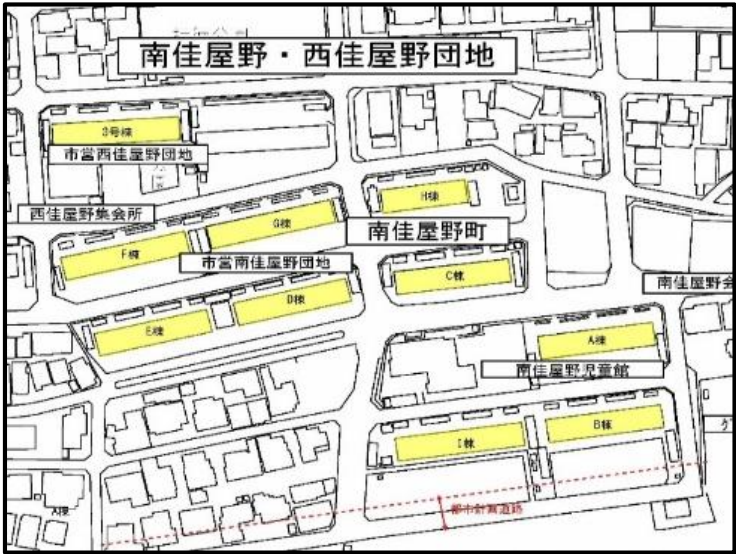
「福知山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地の統合建替を行うことにより、維持管理費の削減及び市民の安心・安全と居住水準の向上を図ります。

(主な取組)

◆建替基本構想策定業務

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度以降
地元調整・意見聴取								
土地整理業務								
意向調査業務・基本構想策定業務								
地質調査業務 基本計画・導入可能性調査								

事業スケジュール



対象となる市営住宅(232戸)

包括管理業務で質の高い施設管理に取り組みます

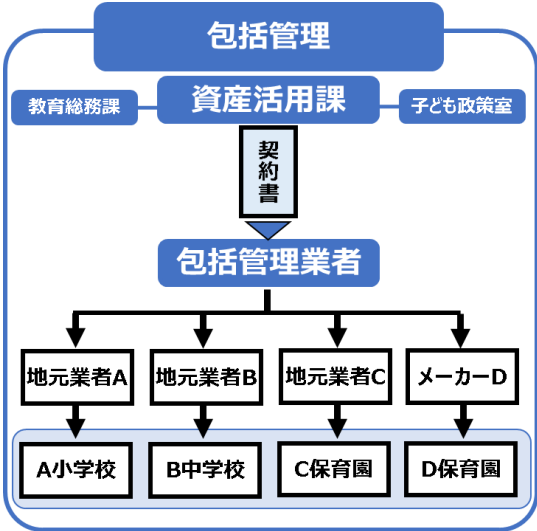
施設マネジメント事業 2億8542万円

P.118
資産活用課

第2期公共施設マネジメント前期実施計画(R7~R11)の再配置方針に基づき、個々の施設の再配置と集約化・複合化に取り組み、施設の最適化を図ります。また、存続する施設について、予防的な修繕等を計画的に実施することで施設の長寿命化を目的とする個別施設計画の実効性を高めるため、福知山市公共施設等包括管理業務を継続して実施します。

(主な取組)

- ◆公共施設マネジメント計画策定及び推進
- ◆公有財産の機能統合及び民間移譲の総括
- ◆包括管理業務による施設の一括管理



包括管理のイメージ

IV 持続可能な財政構造の堅持

① 財源確保

ふるさと納税等の推進

10億3105万円

- ・関係人口の拡大に係る取組や新たな返礼品の開発、返礼品提供数拡大の支援等をさらに推進することにより、ふるさと納税寄附額は前年度当初予算比4億円の増(ふるさと納税寄附基金 10億円)
- ・幅広い事業に企業から寄せられた企業版ふるさと納税を活用(企業版ふるさと納税寄附金 3105万円)

市有財産の積極的活用

5億6628万円

- ・公共施設マネジメントにより創出された土地や土地開発公社から継承した土地などの利活用による収益等を、公共施設等総合管理基金に積み立て財源を確保(売却・貸付含め 2億9628万円)
- ・令和7年度までに積み立てた公共施設等総合管理基金を令和8年度の各事業に充当(基金繰入 1億5741万円)
- ・つつじが丘団地建替に伴う余剰地売却(2億7000万円)

※基金繰入は含んでいない

受益者負担の適正化

5395万円

- ・国民健康保険事業において保険料を一人あたり平均8878円引き上げ(保険料+4120万円)
- ・放課後児童クラブの常時使用料を毎月4500円に引き上げ(使用料+938万円)
- ・市バスの大人運賃を250円に引き上げ(運賃収入+87万円)
- ・福知山城天守閣及び福知山市佐藤太清記念美術館の入館料を330円に引き上げ(入館料+250万円)

その他多様な財源の確保

1億7358万円

- ・ネーミングライツ、指定ごみ袋、公用車広告などによる広告料収入の獲得(1601万円)
- ・様々な事業の財源としてクラウドファンディングを活用(1350万円)
- ・基金一括管理方式による効率的な基金運用(3386万円)
- ・美術館グッズや不用公用車、学校タブレット、回収ペットボトルなど物品売却収入の確保(1億1021万円)

Ⅳ 持続可能な財政構造の堅持

② 歳出等の改善

業務効率化・ペーパーレス化の推進

業務効率化等による効果額
391万円

- ・仮想アプライアンス導入による業務時間の削減(税務課ほか) 690時間 189万円
- ・集中管理公用車の台数削減による維持管理費の削減 35万円
 - ↳市保有車両を令和8年度中に8台→5台に削減
- ・ペーパーレス化促進を図るため全部署の印刷に要する経常的経費等を削減 167万円
- ・ローコードツールの導入や計画策定業務等の情報収集・分析にAIを活用する等のDXの取組を各所属で推進。

地方債繰上償還による公債費の抑制

R7繰上償還実施額 3億円

- ・繰上償還を実施し、将来の公債費負担を抑制
 - 令和7年度実施 3億円

R7繰上償還によるR8償還抑制額
3億円

事務・事業・人員の抜本的な見直しに係るリダクション(縮減)の取組

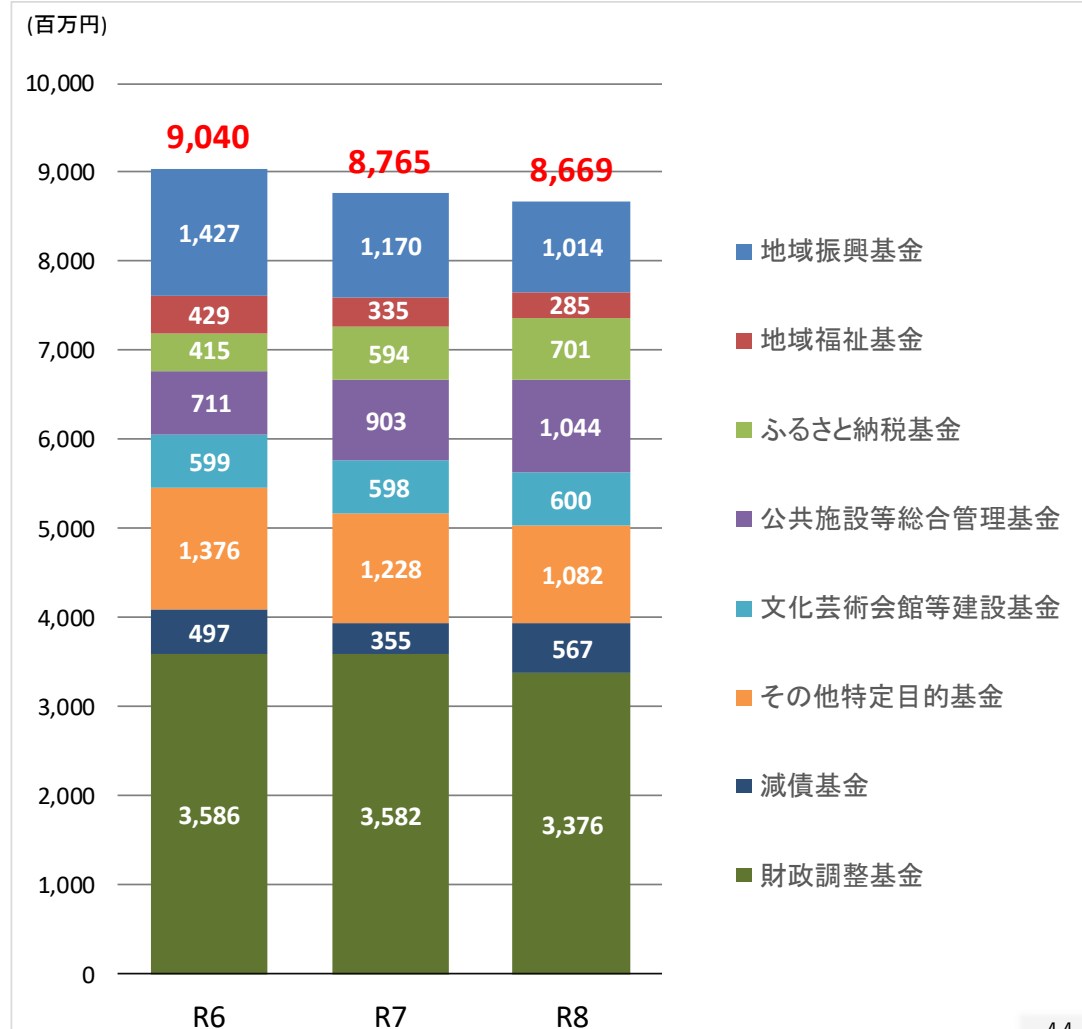
- ・令和7年度に全庁で募集した事務・事業の見直し案354件のうち、271件について実施に向けた具体的な取組・検討を進めていく。
 - 令和8年度に実施する取組例
 - ↳産後ケア事業(通所型:集団)を令和8年度から全て委託により実施 504時間
 - ↳オレンジのまちづくり推進事業の効果的な展開に向け、一部業務を外部に委託 360時間
 - ↳各種予防接種 減免対象者判定作業のDXにより、接種券の即日発行と業務時間の縮減を実現 600時間
 - ↳地域包括支援センター運営においてPC端末を追加配置することで作業の待ち時間を解消 1440時間

IV 持続可能な財政構造の堅持

③ 基金残高

- 全基金残高は、前年度末見込みに比べて1.0億円減少し86.7億円(令和8年度末見込み)
- 財源対策基金残高は、財政調整基金を光熱費高騰対策等の財源として2.2億円取り崩す一方、減債基金につつじが丘団地建替えに係る土地売払収入相当額を2.7億円積み立てることにより、前年度末見込みから0.1億円の増
- 地域振興基金の残高は1.6億円の減となる一方、ふるさと納税基金残高は寄附金額の増を見込み1.1億円の増

		(単位 百万円)				
		年度末 基金残高			前年度比	
		R6	R7	R8	増減額	増減率(%)
特定 目的 基金	地域振興基金	1,427	1,170	1,014	△ 156	△ 13.3
	地域福祉基金	429	335	285	△ 50	△ 14.9
	ふるさと納税基金	415	594	701	107	18.0
	公共施設等総合管理基金	711	903	1,044	141	15.6
	文化芸術会館等建設基金	599	598	600	2	0.3
	その他特定目的基金	1,376	1,228	1,082	△ 146	△ 11.9
財源 対策 基金	減債基金	497	355	567	212	59.7
	財政調整基金	3,586	3,582	3,376	△ 206	△ 5.8
合計		9,040	8,765	8,669	△ 96	△ 1.1



IV 持続可能な財政構造の堅持

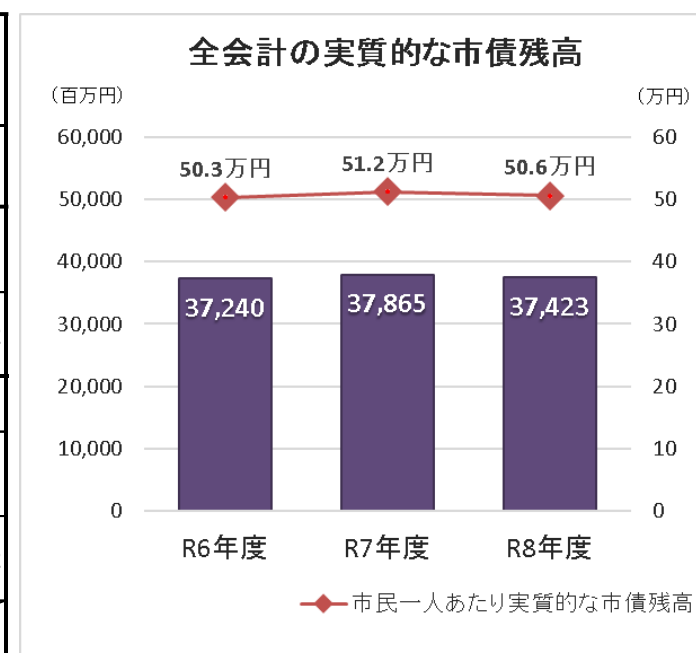
④ 市債残高

- 市債残高は普通会計、全会計ともに減少する見込み(実質的な市債残高(※)も、ともに減少)
- 普通会計の実質的な市債残高は 117.0億円となり、前年度に比べて4億4600万円減少の見込み
(市民一人あたりの実質的な残高は 前年度に比べて△0.6万円となる15.8万円)
- 全会計の実質的な市債残高は 374.2億円となり、前年度に比べて4億4200万円減少の見込み
(市民一人あたりの実質的な残高は 前年度に比べて△0.6万円となる50.6万円)

(※) 交付税の財政支援措置控除後の市債残高

(単位:百万円)

	R6年度		R7年度		R8年度		実質的な市債残高の 増 減	
	市債	実質的な 市債	市債	実質的な 市債①	市債	実質的な 市債②		
普通会計	44,191	12,154	44,165	12,147	42,545	11,701	△ 446	△ 3.7
全会計	82,445	37,240	83,666	37,865	82,039	37,423	△ 442	△ 1.2
市民一人あたり実質的な市債残高								
普通会計		16.4万円		16.4万円		15.8万円	△ 0.6万円	△ 3.7
全会計		50.3万円		51.2万円		50.6万円	△ 0.6万円	△ 1.2
(人口)	R7.3.31	74,009人	R7.12.31	73,891人	R7.12.31	73,891人		



1. 次期行政改革大綱策定にあたって（事務局案）

次期行政改革大綱の策定に当たっては、次の事項に留意した大綱づくりを進める必要があると考えています。

（１）「次期 まちづくり構想 福知山」で掲げる政策・施策の着実な推進

令和９年度からスタートする本市の最上位計画「次期 まちづくり構想 福知山」で掲げる政策・施策を着実に推進するため、持続可能な行財政運営を実現するための具体的な手法として策定します。

（２）「福知山市行政改革大綱 2022—2026」の総括を踏まえた大綱

「福知山市行政改革大綱 2022—2026」の成果と課題を踏まえ、その検証結果を次期行政改革大綱の取組内容に反映します。

（３）社会経済情勢や環境の変化に対応した大綱

社会経済情勢や地方自治体を取り巻く環境が想定を上回る速度で変化する中、持続可能な行財政運営を確保するため、変化を踏まえた取組内容とします。

（４）人財・組織の持続可能性を踏まえた大綱

限られた財源・人財の中で持続可能な行財政運営を図り、職員が能力を発揮しやすい組織体制や業務のあり方に配慮します。

（５）市民に分かりやすい大綱

基本方針や取組事項を明確に定めるなど、市民に分かりやすい大綱を策定します。

2. 大綱の構成及び計画期間

（１）大綱の構成

今後の５年間で取り組む基本理念、基本方針、取組項目、推進体制などを定めます。

（２）計画期間

令和９年度から令和１３年度

次期行政改革大綱の計画期間は、「次期 まちづくり構想 福知山」の計画期間に合わせ、令和９年度から令和１３年度までの５年間とします。

3. 策定体制

(1) 附属機関

福知山市行政改革推進委員会

次期行政改革大綱の策定については、市長の諮問に応じて調査及び審議を行い、答申します。

(2) 庁内検討組織

ア 福知山市行政改革推進本部

部長級職員により構成し、次期行政改革大綱の策定に必要な事項の検討を行います。

イ 行政改革主管課会議（関係主管課会議）

取組項目に関する事項を中心とした関係課担当者により構成し、次期行政改革大綱の策定に必要な検討を行います。

4. 大綱策定年間スケジュール(案)について

令和8年5月	第1回行政改革推進委員会 次期大綱策定スケジュール、進め方の確認
8月	第2回行政改革推進委員会 諮問、現大綱の総括、次期大綱案の審議
10月	第3回行政改革推進委員会 次期大綱案の審議
11月	第4回行政改革推進委員会 次期大綱案の審議
令和9年2月	第5回行政改革推進委員会 行政改革大綱の答申、策定

